

競技注意事項

1. 本大会は、令和8年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。(但しコンバインド種目2種目の出場は認めない。)混合リレーの補欠は1種目と数える。
コンバインドA、Bの中からI種目のみの出場は、本年度の本大会では実施しない。
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)長距離種目はスパイク不可)
4. コールは行わない。競技開始20分前までに集合の予告放送をするので、15分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とする。また、全国大会の競技規則に合わせ、同じ選手が2回フライングした場合に失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。) **合図はイングリッシュコールとする。**
6. 100m、80mハードル、リレーの選手は、自分のレーンを走り、他のレーンの選手の妨害になる行為をしないこと。
7. 5年と6年の100m種目と男女混合リレー(全国大会正式種目)のみ予選・決勝を行う。ただし今年度は混合リレーは、参加チームが8チーム以下のため、即決勝とする。
8. リレー競走のテークオーバーゾーンは、30mとする。ゾーン内からスタートし、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。(最初に立つ位置はゾーン内であればどこでもいい。)
9. コンバインド種目(A…80mハードル、走高跳 B…走幅跳、ジャベリックボール投げ)
 - ・各種目の得点は、『JAAF小学生混成競技得点表』による。
 - ・2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は同順位とする。
 - ・80mハードル走は、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまでは11mとする。
 - 走幅跳、ジャベリックボール投げは全員2回の試技とする。
 - ジャベリックボール投げは、助走距離は15m以内とする。
 - 走高跳の試技は1mから開始し、足からの着地のみ有効試技とする。2回続けて失敗した時点で終了とする。
10. **各種目とも上位6位までを表彰する。**(県予選参加の可否とは関係しない)
記録は速報用ホームページ(別ページに掲載のQRコードより)に掲示するのでよく確認のこと。
なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落としした場合はそちらで確認のこと。
11. 正式種目に参加の県内在住および県内クラブに所属する小学校5・6年生の年齢に該当する児童のうち、上位4位までに入賞および参加標準記録を突破したチーム及び個人が、9月13日(日)に行われる”日清食品カップ”岡山県小学生陸上競技交流大会(岡山県代表選手選考会)(津山陸上競技場)に出場できる。
12. **各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。**
13. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。
大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。 **なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。**
14. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
15. ごみは各自持ち帰ること。
16. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。